

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」金沢ベイエリア校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童一人に対して 1 対 1 でその子の特性に合わせて対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関は段差があるが室内はバリアフリー化されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期ミーティングで話し合いをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し、職員間で話し合いをしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者評価は行っていないが、今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間通じて発達支援研究所の研修を受け、事例検討会も行っている。また、外部の研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様との面談でアセスメントシートを作成後、一人ひとりの特性に合わせて計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			「きりり」で統一されたアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と担当指導員、他指導員がモニタリングを行い、プログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の成長や興味に合わせて、継続した方がよい場合は継続し、変えた方がよい場合は変えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	1 時間単位の個別支援を行っているため、平日、休日と分けていない。長期休暇のみ児童に合わせて課題を変更する場合もある。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		通常は個別支援だが、月1回程度行っている小集団療育に参加することで組み合わせられるように工夫している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		朝礼で確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		終礼やその日の記録で確認している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		日々の記録を行い、支援の検証、改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		定期的にモニタリング（6か月ごと）を行い、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		児童の発達に合わせて、組み合わせ支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		児童の状況が分かる児発管が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎は行っていないため、特に行事等の情報共有は行っていない。児童の様子等は保護者様のご要望があれば情報共有をさせていただいている。 今後、保護者様からのご要望があれば対応していきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今年度はご希望がなかったため、行っていないが、今後対象児童がいた場合、対応していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度はご希望がなかったため、行っていないが、今後対象児童がいた場合、対応していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		情報共有を行っており、研修も受講している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	特に交流はしていない。今後必要になった場合に検討したい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在参加はしていないが、必要な時に情報共有をさせていただく。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者様と支援後に話し、共通理解できるようにしている。また、場合によっては個別懇談も行っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		本格的なペアレントトレーニングは行っていないが、相談を受けたり、アドバイスをしたりすることはあり、今後、そういった保護者支援も取り入れていく。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の支援やモニタリングの際にご相談に応じたり、それ以外の時でも必要な時に応じている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、ママカフェ等の企画はしていないが、今後、時期を見て取り入れていく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			できるだけ迅速に対応している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月2回ブログを更新している。また、LINEでもお知らせを発信している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの書庫で管理している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			それぞれの特性に合わせた配慮を行っている。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方向けのイベントは行っていないが、対象となる方が参加できるように地域の学校や病院、店舗などにお知らせを配布し、掲示等していただいている。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれ マニュアルがあり、訓練を行っている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、訓練を行っており、年2回は児童、保護者様参加で行っている。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回研修に参加し、事業所内でも研修を行っている。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在身体拘束を行っている児童はいないが、重要事項説明書に記載されており、必

					<p>要な場合は保護者様のご了承を得て、支援計画に記載することになっている。</p>
④②	<p>食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p>			○	<p>食べ物を提供していない</p>
④③	<p>ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか</p>	○			<p>ヒヤリハット事例を作成し、共有している。</p>

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年2月5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」金沢ベイエリア校 保護者等数（児童数）：22(24)回収数：20 割合：90.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2		ドッジボールは小さい子がいると危険なのではというご意見をいただきました。同時間に利用される方に配慮しながら、活動を行っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	11		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	20			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	18	2		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	13	4	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	8	7	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	7	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1		LINE やネットワークシステムの利用を希望されるご意見がありました。LINE はこちらからのお知らせのみの配信とさせていただいています。ネットワークは常に職員が見て対応することが難しいため、急な予定変更等は電話での連絡を引き続きお願いいたします。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	3	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	5		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	7	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17	1		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。